

「日本基督同胞教会史」研究会  
 「機関紙『同胞』」を継続して読む 2

外谷 悦夫

6月7日追加部分

京都基督同胞教会（現日本基督教団京都丸太町教会<sup>1</sup>）創立に関して

1903年創立 1901年J. E. ニップ宣教師来日。住まいは烏丸通今出川下る同志社牧師館に住居を定めた。早速集会を開始。日曜朝はベニ・クライエル（ニップ宣教師伴侶）が、夜は石黒猛次郎がそれぞれ担当した。第1金曜日夜には祈祷会が開かれた。このことに初めから尽力した人は石黒猛次郎、川崎条次郎両学生、綾井富士子、高場とみ枝ら。1903年4月、綾井捨吉、綾井つや子、戸田繁雄、山本清太郎、平沼秀三ら、さらに有為の青年数人がこれを助けた。…現在の聖護院八ツ橋本店前の家を借り、そこにおいて教会が創められた。同年7月には新山泰治、永田栄、沢野万吉の3青年が受洗入会した。同年11月、ニップは病を得て夫妻でアメリカへ帰ったがこれより先、石黒猛次郎が専ら牧会の任に当たった。

上記の記述に、石黒猛次郎、川崎条次郎、新山泰治がでてくる。本稿では、石黒猛次郎は最初は本所教会信徒として、次に京都基督同胞教会（現在の京都丸太町教会）牧師として川崎条次郎は小田原基督同胞教会（現在の小田原十字町教会）牧師（2ヶ月）。その後同志社に入学。1907年沼津教会牧師に任命されるも、1907年に召された<sup>2</sup>。新山泰治は機関紙「同胞」の編集者代表者（日本橋教会牧師）として見る事ができる。石黒は中島錦五郎による混乱を経験し、川崎は日露戦争後の小田原での教会に対する冷たい視線の中、2ヶ月で牧会を去り同志社で学んでいる。そこに新山が加わり、京都での宣教が開始されたことは聖霊の業を感じる。

田口乙四郎に関しては、小田原十字町教会から、1908年（明治41年）野田教会に任命されているが<sup>3</sup>、野田教会での住まいの関係で野田教会での牧会はしていない。1909年（明治42年）日本基督同胞教会の養老委員<sup>4</sup>を務めている。しかし、その後、日本基督同胞教会から離れた<sup>5</sup>。

## 9月20日発表部分

1919年4月以降の記事から紹介していく。なお118号3月発行分は欠けている。119号(4月15日)では第19回年会(1919年3月19日～24日。会場：膳所基督教同胞教会及び石山 三日月桶)の反省が記されている。「同胞教會年會の理想」と題し「同胞」主筆の新山泰治は19回の年會を顧みながら次のように記す。

「教會の大きくはないが順當な、異常ではないが健全な發達を我等は先づ神に感謝しやふ... 猶ほ靜かに又溯つて我等の何の點が此深い神の恩寵を盛るに足る器とせられたかを省みやう其反省から教會の自覺が生まれ出すだろふ。堅固な自信が築かれるであらう。かくして私は思ふ、今年を追ふて年會に同胞の精神が高調せられ、同胞の愛が感得せられ出したのは、是れ、明らかに教會が自分を自覺し、其天分器量を意識し來つた反映ではあるまいかと... もしさふであつたならばこそ神の教會だ、我等は何を失ふとも此同胞の愛この尊き恩寵は喪ふまい。」とそして「年會が事務的なものではなく、友愛、輯睦(しふほく)、全國の兄妹が一堂一所に會する家庭的の會合でありたい。.. 同胞教會の年會の理想は果たして何れにあるべきであるか、諸兄の一考を煩したいのである」と。

説教「教會の建設」と題しコーサンド総理(第19回年会開會演説の概要)は、「信者の一人一人をして一人の人を救わせる」ことの重要性を説いている。

第19回年会で1,000円の伝道金支出を記載している。それを「信仰充實運動」に当てる。その内容は、信仰復興運動である。教会内にあつて長く疎隔(ねぐれつと)された信者の信仰を覚醒せんと努める運動。教会の信仰的生命を充實し、これに活気を与えられが為祈り努める運動。大声叱呼する講壇の伝道よりも、靜かに個人の靈を訪れこれを基督に導かんと努める運動。広告で最初に5月21日から同月27日まで名古屋基督教同胞教會において「信仰充實運動」が開催されることが告げられている。1918年から4年間計画拡張運動が始まっている。その一環として「信仰充實運動」が計画されたようである。この運動主任は新山泰治牧師である。

機関紙「同胞」も改良が論じられている。「関の聲(救世軍)や、基督教新聞(プロテスタントの超教派の週間新聞。基督教世界の前身)のやうのものが書けないのが眞個(ほんと)かも知れぬ」と記しつつ、ベストを尽くすことが記されている。第19回年会には年會員及び代員が29名が記録され、6名の番外議員が記されている。神戸教会、大津教会、大久保教会、松戸教会の会堂建築への具体的な金額が記されている。また、船橋町遊郭撤廢運動の件が議され牧師信徒主となり、矯風委員が援助することが決定されている。120号欠。

121号(6月15日)は信仰充實號。「同胞」主筆の新山泰治は特別伝道と信仰充實の比較を描く。特別伝道の欠点が5つ挙がられている。「1. 教会員の真理に無頓着。2. 働く人の数と働きがあまりに狭く且つ薄く限定されている。3. 場当たり流れ過ぎる。集まった人数、多数の記名者出来たということに重きを置き過ぎる。4. 演説会でできた志道者が求道の前後に数として扱われる傾向がある。5. 説教者も場当たりのとなる。説教者も1時間の仕事、求道者も一時の感興や周囲の事情に制せられて著名することになり、真面目さが足りない。信仰充實運動は、懺悔の精神求道の至誠を抱いて信者が各自神の前に出るのである。己がために嘆き悔い改めて神にすがり信仰に立ち帰るのである。各家庭の集会にはそれぞれ己が知人友人を招いて共に赤心(まごころ)を披(ひら)いて求道の誠を語り合う。それが3日4日続く間に一同の精神が段々引挙げられる。ことさらに人を教えるような態度に出ない此の求道の会が非常に人を教える。1週間の後には余程訓練された霊的実験を抱いた求道者が出来る。」

伝道者の覚悟:「この伝道によって最も多くを受くるものは伝道者である。伝道者は商売人と感じを与えることがある。1週間続く信仰充實運動は商売の対応で徹底しうる事業ではない。伝道者自らも最も砕けたる真面目な求道者であらねばならぬ。」

名古屋教会での実施報告が同教会牧師の定森治郎一により記されている。「隔日に早朝祈祷会、各講師が交代に司会し奨励し、午前中はデヴォーショナルアワーに充て、午後は二手に分かれて信徒求道者を訪問。夜は教会又は家庭等において同時に二ヶ所で開会し最終日の夜此等諸集会に導いた人々を招いて感謝及信仰告白会を催すことに定めた。集会の内容。

イ、祈祷会 5 出席者数 40。ロ、家庭集会 4 出席者 30。ハ、教会の集まり 5 出席者 55。ニ、役員会及び教師会 1 出席者 7。ホ、礼拝 1 出席者 16。ヘ、訪問家庭 10、出席者 20。」定森牧師は「本当に人心の深い要求を充たし信仰を薦めるに最も大切な方法は随時教会の事情に応じた密室に於ける信仰充實運動であることを断言する」とまで述べている。

海外教会事情: 青年を宗教界へ 一致加入運動。合衆国において同胞教会大学への入学を進め 2,000 名の入学者を得、500 名の牧師宣教師宗教教育家を得るように苦心している。このために日本の教会も祈るべきではありませんまいか。日校前進運動 宗教教育の必要を認め、日曜学校拡張費として 4ヶ年に 2,000 ドル即ち略(ほ

ば) 4,000万円の醸金をすることに決した。米国の母教会がこの重大な問題に関し是迄嘗(かつ)て見ない努力をしているのは誠に喜ばしき現象である、と「同胞」記者は語る。第一次世界大戦が起こした衝撃への応答であろうと思われる。

雑録：修正せられたる「主の禱」日本基督教会同盟はこの年の大会にて「主の禱」の統一を決議した。現在使われている1880年訳は「みこころの天になるごとく」としているが「みこころの天におけるごとく」としている。他のところは同じである。

軽井沢夏期講習会：軽井沢日本人教会において日曜学校協会主催講習会が7月22日から8月2日迄行われる予定。講師：柳原貞治氏(児童心理)、渡辺善太氏(旧約聖書研究)、オルトマン氏(新約聖書研究)、守屋東子氏(初等科及中等科)、岩村清四郎氏(同校音楽)、三戸吉太郎氏川澄明敏氏(組織並管理)等。校費1円、宿泊料1日1円50銭。

教報：京都同胞教会：4月27日の礼拝安田牧師会衆80余名。同日夜、有賀鐵太郎神学生、安田牧師伝道説教。来会者40余名。

渋谷同胞教会：5月25日午後7時半、相良牧師(第一次世界大戦イギリス・フランス・ロシア・日本聯合軍慰問使)「欧米視察談」と題し2時間の講演。来会者140名余。

野田同胞教会：5月27日午後8時教会に於いて演説会を開催。講師に日疋信亮6(ヒビキノブスケ)陸軍主計監と岡崎義孝本所同胞教会牧師。日疋氏は「日本の将来と基督教」、岡崎氏は「日本の改造と基督教」会衆50余名。戸外に30～40名。同日午後には両氏は青年団及戊申会聯合主催なる小学校内克己館に於ける講演会に臨む。岡崎氏「我國民の大敵」日疋氏は「人道、勝利」と題し講演。聴衆300余名。近来稀なる盛会なりき。翌28日、野田駅に於いて岡崎氏「人生の目的」日疋氏「信仰の必要」について説かれ聴衆35～36名ありし由。

本所同胞教会：6月1日夜7時半、「花の会」開催。岡崎牧師説教「野の百合を見よ」。日曜学校生徒の讚美、暗誦、お話、演説、対話等十数番の演技あり。9時過ぎ散会。5名の受洗者1名の転入会者ありし由。

原宿同胞教会：教勢変わりなし。青年共励会毎月第4日曜日の晩例会を開催。相互に司会、演説をなしおれり。会員12～13名。5月17日午後2時、少年少女のためお話し会開催。江上宗相氏「忘れん坊」柳川健氏「銀の糸」と題し話され小さき手の喝采をうけられたり。来会者160許。「福音」と題する教報第1号を発行せられたり。

松戸同胞教会：来る6月21日松枝館を会場として矯風演説会を催し、大久保直一

郎氏及び新山泰治氏出席講和せらるる由。なお、26日は同町園芸学校（現在の千葉大園芸学部と思われる）青年会主催の講演会開催せらるる筈。

東京教役者会：6月9日午後2時。コサンド氏方に於いて開かる。岡崎義孝、中山鹿次郎、伊丹虎雄、水向啓次郎、新山泰治の諸氏出席せられ、主として信仰充実運動及び今夏の伝道に就き談合せられ5時散会せられたり。

伝道：「基督教とは何ぞや」横田格之助 基督教とは神を信じ基督に従い人間をして生き生斐（がび）ある生涯を送らしむる宗教であります。

「懼るる勿れ唯信ぜよ」名古屋脳病院を訪れたとき強度のヒステリーに罹っている婦人を院長に紹介され、慰安になるようなことを話して欲しいと請われた。話を聞き、唯神を信じ一切をお任せなさいとすれば万事はよくなると勧めた。婦人もそうしたいと思っているが出来ないといい、光明を与えたい、信の心持ちついて悟りを開かせたいと思ったが時間もなく十分に話す暇がなかった。信仰は一朝夕の事業ではない。聴けば信仰のある人に殆ど精神病者はないという事であったが、信仰の落ち着いた心持は自然自然と信者の心の内に養われるのでおいそれと手に入る者では無い（尤もそんな場合もあります）いろいろの懼れ不安は要するに神に信託する信がないから起る…。君が健康な内に、幸福の続く間に信仰を我物になさい。（N生）「難有い事には」原田治助氏の話しから。基督教の教えを聴きたいと思った動機の一つが一人の紳士に出会ったことであった。応対折衝がどうも普通の人とは様子が違う…。「有難い事には私共兩人は基督教を信じております」。唯一言に無量の内容がこもっている…。眞個（ほんと）の伝道は説教によってではなく篤信敬虔な信者の生活によってなされる。（N生）

酒と煙草の能率に及ぼす害も約1段を使って訴えている。

122～124号欠。

125号（10月15日）伝道、聖書講義、日曜学校、説苑、詞想、雜纂：同胞雜貨部の新設 大崎市北区天神橋筋2丁目同胞雜貨部松香秀太郎氏振替大阪3840番。個人消息：佐治みな子姉（小田原同胞教会員）目下福島県原町1丁目に住し9月中より家庭展覧会なる者を催し同地方人の為に日用品原價販売を為し生活難救済に努力しつつある由（前年1918年米騒動）。

教報：京都同胞教会の活発な報告あり。小田原同胞教会：9月14日午前9時。京濱聖樂隊1行6名來原。本多樂長の指導にて欧米最近の傑作讚美歌及各校歌の演

奏あり。木村氏「基督教宣伝の急務」を簡易に説教。午後2時日曜学校開催。同楽隊演奏後、岡村氏、木村氏、清久氏等は交互に教訓のお伽話を試みられ生徒一同に興味と感動を与えられた。9月28日朝の礼拝説教は日本基督教員にてこの頃休職となりたる海軍軍大佐波多野貞夫氏「信仰生活」と題し最近同氏の味はれたる実験を語られ、列席の人々に同情と共鳴とを感せしめたり。沼津同胞教会：日曜朝平均16名、夕は同17名の集会あり、祈祷会は8名、9月中は永眠者記念礼拝、野外親睦会、日曜学校振起運動、等の特別集会有り…。各種の集会は概して良好、教会は追々と発展しつつあり。本所同胞教会、原宿同胞教会のそれぞれの活動報告あり。

広告：浜松伝道について 静岡同胞教会米吉氏は毎月2回浜松市に出張信者の家庭にて集会を営んでおられます。同胞教会の信者求道者で浜松に在住の方々には吉田米吉氏にご通知ください。

126号(11月13日)「恵まれたる信仰充実運動」「世に勝つ力」コサンド総理「九州に於ける旧教」伊丹虎雄 伝道「罪という業病」(S生)

日曜学校「教師の感化力」矢部喜好 世界大会 明年(1920年)10月東京に開催さる(第8回)世界日曜学校世界大会は世界大戦後に於ける最も重大なる世界的會合の一つとして期待せられている。この大会には60有余の国民と多数の教派を代表する人士集合すべく、日本に於いても之が為特に有力なる後援会組織せられている。今や世界は新たなる堅実なる進路を求めつつあり、この時に際して将来の基礎を据へんが為め宗教教育による一途を提供し、精神的方面より国家の政策を動かすべき一大勢力たるべきを信ずる…。本大会の後援会は大会会期中日本の家庭に1,000名の宿泊をひきうけ朝食を供する準備をなしている。

大会の研究題目は次の如くである。

- (1) 日曜学校と世界進歩
- (2) 救世主たるイエス・キリスト
- (3) 神の黙示なる聖書
- (4) 日曜学校と児童及個人
- (5) 日曜学校と教育
- (6) 日曜学校と社会
- (7) 日曜学校と国民生活
- (8) 日曜学校と基督教的國際主義

海外教会事情 十分之一献金運動 ゼ・エ・ニップ 各年會において教会会計

の意義が説明せられ、祈祷後、有志が誓約をなした。「余の収入の十分の一以上を神国建設の為に献ぐべきを誓約した」..戦後の基督教会に与えられたる未曾有の大使命を果たすために必要なる財政上の貢献をなす事の光栄を感謝する筈である。

一致加入運動の結果（121号6月15日付け発行）結果は非常に良好

1. 神の言葉なる聖書を毎日熟読する事
2. 時間を定めて毎日祈祷する事
3. 教会の定期集會に出席する事
4. 献金問題を真面目に考へ、若し聖意なりと思はば十分の一献金同盟に加入する事
5. 1ヶ年に少なくとも1名を主に導く事

これらが教会員凡ての目標となつてその結果が外国伝道にまで及んでいる。去る6ヶ月間400名の青年男女が基督教事業に身を献ぐるといふは心の出来たといふ事は感謝に堪えぬ。

アフリカ女子教育 死（ほとんど）20年前同胞教会はアフリカのセレオン州モヤンバ（シエラレオネ南西部の町）に女子塾を開始した。殆ど10年間20名の生徒を得ることが出来なかつたが近年著しく生の数を増し50名以上を収容している。... 今年の秋（1919年）は米国同胞教会の婦人伝道会社及女子伝道会社が協力して特別献金をなし新校舎を建てるとの事である。セレオン州には女子教育のために3つ丈学校（塾）がある。わが同胞教会の女子塾では学問を勉強させる丈でなく裁縫其他婦人に必要なる技芸を教へ、信仰の訓練をも与えるのである...。モヤンバ在住の英国官吏がこの女子塾丈でなくセレオン州の同胞教会伝道地を調査して「教会の伝道が開始せらせている地方は明らかに他の地方と異なっている」と証言している。

#### 信仰充実運動報告

日本橋同胞教会：10月15日から21日まで。主任の新山牧師、応援牧師は横田、水向、岡崎、中山。開始前3日間毎夜特別祈祷会を行ふ。1週間毎朝6時半から教会で靈交会（祈祷会）。牧師協議会、青年信徒懇談会、役員会、聯合家庭会、日曜学校教師生徒懇談会。毎夜信徒の爲の説教会、祈祷会、愛餐会懇談会、演説会聖別感謝会等、外に3ヶ所家庭集會を開催。主に教会で行つた。

沼津同胞教会：10月21日から26日まで。横田、吉田牧師奉仕。家庭集會がよく持たれた。大阪同胞教会：11月3日から11日まで。コーサンド総理、大野牧師、新山牧師、安田牧師の応援で行う。靈交会（祈祷会）、

教会での集会、家庭集会とバランス良く行われたようだ。

原宿同胞教会：11月10日（月）から16日まで。齊藤牧師、矢部牧師、新山牧師の応援を得て行った。準備として3日から9日まで祈祷同盟の日とし、会員は必ず毎朝プログラムに従って聖書を読み祈祷をなし、この運動の上に聖霊のご指導を願いました。齊藤矢部両牧師の御自分の懺悔をなされ神に対する真実の心を現され、私共の取るべき態度を事実を示してくださいました。訪問、集会、聖別会。矢部牧師膳所に帰られた後新山牧師が青年会指導、齊藤牧師の礼拝、日曜学校教師会、夜の懇談会。今回の運動で感謝すべき事は自分の信仰の立場を明らかに示されたこと、浮いた調子でなく真剣にキリストの愛を身に覚ゆる様に導かれたことです。教会の統一とか整理とかはこんな働きかけを続けた處に行はれるかと感じました。

127号（12月25日）「恭しく聖誕節を頌し奉る」 聖書講義 横田格之助 施濟（ほどこし）について、祈りについて 日曜学校 矢部生 日校臨時大会 11月7日から9日まで東京において日本日曜学校協会臨時大会が開催された。明年秋の日本で開催される世界日曜学校大会の予備会とも申すべきもので非常に大切な会合であった。

7日小崎会長<sup>7</sup>が世界改造の根本問題として日曜学校事業の必要を力説せられた。午後の懇談会において、米国メソジスト教会村落日曜学校主任マツコネル氏は田舎日曜学校が都会日曜学校と異なる諸点をあげ、村落日曜学校は地方の中心機関とならざるべからざるを力説。京都部会幹事山本清一氏は教師養成問題について論じ、仙台部会長木村繁枝氏は新時代と宗教教育として語り、大阪小泉澄（チヨウ）氏は国民教育に対する日曜学校の使命を述べられた。名誉幹事のコールマン氏が世界大会の内容について説明せられた。10日間の大会中展覧会、講演会、日曜学校に関する幻燈活動写真等があり、宗教劇もあるとのこと。

8日祈祷会司会は日本基督同胞教会大野牧師。協議会に移り、次の事が決定した。

1. 全国日曜学校に於いて来年10月までに現在出席生徒数2割5分以上の増加を得ることに大いに増力する事
2. 全国日曜学校中少なくとも100個の教師養成科を組織する事
3. 全国日曜学校中少なくとも1,000校が本協会所定の標準に達するために努力する事
4. 全国に於て少なくとも100個の部会を組織する事

代員（日本部）選出の方法を次の如く定めた。

1. 各教派代表者 150 名
2. ミッション代表者 100 名
3. 部会代表者 200 名（1 部会 2 名）
4. 本協会に加盟したる出席生徒 100 名以上を有する日曜学校より各 1 名、200 名以上を有するものより 2 名を挙ぐる事
5. 各派の日曜学校局又は委員の代表 10 名
6. 男女神学校又は伝道学校の代表者 10 名
7. 5 個以上の日曜学校を経営するミッションスクール代表者 25 名

午後は早稲田大隈邸に於て歓迎会。世界大会後援会長として大隈侯が 21 万円の募集其他に奔走せらるる承諾と日曜学校当局者の奮起を促す有益なる奨励があった。...

9 日午後 1 時から霊南坂教会の 1 室にて東京各同胞教会日曜学校教師の懇談会を開催。

午後 2 時から礼拝堂にて日曜学校教職員大会開催。海老澤亮氏「宗教教育の創造的能率」と題して日曜学校事業が影響する範囲の広きことを説かれた。次の建議案を通過し、閉会した。

1. 本部は直ちに各部会に対し部内日曜学校当事者並びに教役者の會合を求め世界大会に対する了解に力むる事
2. 各部会をして本年 12 月より来年 9 月に至る間日曜学校問題に関し一般的大演説会を開催せしむる事
3. 各部会に於ける大演説会はなるべく部会自らの活動に俟つべきも止むを得ざる場合は部より応援或は経費の補助をなして大運動を全国に普及せしむる事

海外教報 労働問題の根本的解決 ニップ 合衆国の各教会は所謂「聯合世界教化運動」を開始し先ずアメリカを基督教化し進んで全世界に福音を宣伝する事を力めている。この運動主催のもとに去る 12 月 2 日 3 日両日に亘りニューヨーク市に於て産業會議なるものを開催し、労働問題解決の根本的精神を決定した。日本も労働問題の解決のために多く人々がしきりに論議している。産業會議の決定の要点を摘出する。吾人基督者は次の如きキリストの根本思想により是等の問題の解決を得ん事を期す。

1. 個人の絶対的価値及其の人格啓発の機会を得る権利
2. 奉仕は人生活動の主要なる動機にして成功の試金石なる事

3. 人は徹底したる人類同胞主義の実現に対し無責任なる能はざる事

吾人はキリストの根本精神が経済、工業、政治、教育等の実社会に於ける各種の方面に適用競られん事を熱望し次の如き改善を要求する。

1. 産業の管理に各種の人々をしえ代表せしむる事
2. 労働組合組織の権利と資本家労働者間の公平に於いてデモクラチックなる関係の成立を期する事（相互に諒解を欠く場合は代表者を選出して之を協定せしめて解決せしむべき道徳的義務のある事）

禁酒と経済 米國は禁酒により、犯罪者や精神病者のごとき政府のやっかいになるものが著しく減少し、労働の効率は増して生産力が加はり却って課税の軽減を見る事となった。.. 今や禁酒問題をば社会的経済的の方面から研究し之が解決を得んために運動を開始すべき期である。

説苑 財貨に対する基督者の取るべき態度 ..併し、軒の小雀と雖も豊かに守らる、況んや生を神に托せる人間の、如何で物に乏しからんやとは達眼である、吾等は神の国とその義しきとを求めて、真摯に働くべきである、然し、吾等が働くのは決して物質が目的であつてはならぬ、神は今に到るまで働き給ふが故に働くのである、働く事は神の旨なるが故に働くのである、故にこの労働こそは神聖である…斯くの如く真剣に働いて、尚衣食の代を欠く所には必ず欠陥あるを信ぜよ、神の約束は偏しては居ない、その欠陥が己自身の誤謬に存せずんば、必ずや其の社会に神旨添わざるものあるを発見せん、そこに有すべからざる罪惡潜むを発見せん、その罪禍は断然除くべきである... 11月17日夜 水向啓次郎

追憶 愛弟の靈に捧ぐ 根岸元治兄の大阪出張中愛弟元助君の訃報に接し認めたる一文。

故小笠原澄江嬢が事ども

教報 渋谷同胞教会、静岡同胞教会、野田同胞教会、名古屋同胞教会、本所同胞教会、幻燈會 神戸の大野牧師東京及付近各教会巡回し幻燈會を催し氏が曾て踏査せしパレステナ及び埃及等の古墳、並に風景、基督伝等を写出し自ら説明の勞を取らる。

11月9日夜 市川公会堂 会衆 200 有余

10日松戸の劇場 大人子ども合わせて 300 余 岡崎牧師の通俗公演あり 10時閉會

11日野田教会 交渉の行違ひあり殊に雨強がりしにも不拘 50 有余の子ども集まる

12 日船橋教会 満員盛況大人の来会者も少なからず 開会后岡崎牧師簡単に奨励

13 日本所教会 300 有余の子ども初めより終迄静粛なりき

14 日渋谷教会 最後の集会 折悪しく雨なりしも多数の来会者ありし由。

神戸同胞教会：来年 1 月を期し信仰充実運動実行の計画にて準備運動として、去る 12 月 4 日 5 日両日東京より新山牧師の来援を乞い小集会及早天祈祷会を催せり。

小田原同胞教会：秋季運動に矯風演説会を兼ね、幸へ笠原幹事の東上を期とし、去る 11 月 27 日、28 日両日演説会を催せり、波多野海軍大佐<sup>8</sup>、新山、岡崎、笠原 4 氏の演説あり。聴衆両夜を通じて 70 余名。有益なる教訓と感動を会衆に与へられたり、新山牧師は 29 日夜小笠原姉の追悼会に列して帰京せられたり。

(本稿は日本基督同胞教会史研究会の 2022 年 6 月 7 日「機関紙『同胞を』を継続して読む」と題した発表の追加部分と 9 月 20 日発表からなる。)

〈註〉

- 1 日本基督教団京都丸太町教会 100 年史 6～8 ページ
- 2 第 21 回日本基督同胞教会年会記録及び報告 (大正 10 年 1921 年) 日本基督同胞教会宣教師教師一覧 5 ページ
- 3 第 8 回日本基督同胞教会年会記録 (明治 41 年 1908 年) 61 ページ なお、第 1 回から第 13 回までは 1 冊の記録としてページは通し番号になっている。
- 4 第 9 回日本基督同胞教会年会記録 (明治 42 年 1909 年) 66 ページ 「田口養老委員は会計報告をなす」と記され、新たな養老委員に吉田、水野 2 氏が任命されている。同 70 ページ
- 5 第 21 回日本基督同胞教会年会記録及び報告 (大正 10 年 1921 年) 日本基督同胞教会教役者会によれば次のように記されている「牧野、藤城、水野、田口、水口も教会を離れたり」。24 ページ
- 6 日疋信亮 富士見町教会員。1933 年 6 月には富士見町教会三吉務牧師と共に「満州伝道会」を設立し、満州への伝道を進めた中心人物。1937 年東亜伝道会と改称。1944 年日本基督教団東亜局へ(「日本の満州支配と満州伝道」韓哲曦 (ハン ソッキ) 著 日本基督教団出版局 1996 年刊より)。
- 7 小崎弘道 (霊南坂教会牧師) と思われる。
- 8 波多野貞夫と思われる。最終は海軍中将。工学博士。1881.5.21～1942.1.7。1900 年海軍兵学校 28 期を首席で卒業。海軍兵学校時代軍人伝道義会教友となる。1908 年フランス駐在、1910 年ドイツ駐在。火薬の調査研究に没頭した。1918 年呉工廠火薬試験所長。呉海軍軍人ホーム舍母十時菊子との信交等により日本基督教会で受洗。1920 年海軍火薬廠研究部長となり呉より平塚へ赴任。1923 年第 2 代海軍火薬廠長となる。平塚赴任当時は平塚美晋教会に出席。もともと日本基督教会に属していたので 1930 年日本基督平塚富士見町教会が創立された時に移る。同教会が無牧師の時牧し、舞鶴教会の無牧師時代にも伝道義会出身の関係者と共に宣教に当たる (日本キリスト教歴史大事典及びネット公開の平塚図書館の情報誌きいぶ 平成 19 年 2007 年

12月第72号より)。兄に哲学史家・宗教哲学者の波多野精一がいる。